

文化・交流—新しい地域創造

ロゼ

文化情報誌 ロゼ
Art information of Fuji city
 Culture Magazine ROSE
 Vol.11 SPRING 1995
 春号



オペラとオーケストラの華麗なる饗宴
新日本フィルハーモニー交響楽団 ガラ・ドウ・ロゼ 1995年7月9日(日)大ホール 開場14:30 開演15:00
 指揮とお話/青島広志 演出と解説/八木瑞穂 管弦楽/新日本フィルハーモニー交響楽団 出演/萩原かおり・河村永真・星洋二・久保和範
 入場料(全席指定)/S席5,000円 A席4,000円 (学生2,000円)

Profile
演出家: 八木瑞穂
 Yagi Mizuho



静岡県藤枝市出身、武蔵野音楽大学声楽科卒。
 学生時代からオペラやミュージカルに出演。

その後、前外務大臣柿沢弘治氏の秘書に転身。
 4年前から演出家・劇作家として音楽界に再デビューした。
 核心をとらえた数多くの作品と演出手腕が、公演各地で絶賛されている。
 昨年9月ロゼシアターで公演された創作オペレッタ「お姫さまの出家」の演出を手掛け、大成功をおさめた。
 「ガラ・ドウ・ロゼ」のコンセプトは、皆が気軽に楽しめる芸術を演出すること。
 青島広志氏の指揮とキャラクターを核に、客席と舞台の一体化を図りたい」と語っている。

ごめんなさいね。
 最後のオペラが手前味噌。私が一九八五年に作曲した「火の鳥」(手塚治虫原作)より火の鳥は眠るんです。私は今までに七作のオペラを書きました。

「カヴァレリア・ルスティカーナ」の「カヴァレリア」序曲。二曲目にオペラとしては最も古いモーツァルト「ドン・ジョヴァンニ」からヘカタログの歌。これね、ドン・ジョヴァンニが何人の女性と関係があったか、わかるのね。従者が超早口で歌う、ご主人様の愛人カタログなんです。次がヴェルディの「アイダ」から(勝ちて帰れ)。三角関係に揺れ動く女心の歌ってところかしら。次はマスカール二作曲の「カヴァレリア・ルスティカーナ」。

イリアム・テル」序曲。二曲目にオペラとしては最も古いモーツァルト「ドン・ジョヴァンニ」からヘカタログの歌。これね、ドン・ジョヴァンニが何人の女性と関係があったか、わかるのね。従者が超早口で歌う、ご主人様の愛人カタログなんです。次がヴェルディの「アイダ」から(勝ちて帰れ)。三角関係に揺れ動く女心の歌ってところかしら。次はマスカール二作曲の「カヴァレリア・ルスティカーナ」。

でもこれだけはやめて……。思いつめて死ぬほど好きになるのは。いるのよね、その歌い手が歌うオペラの歌詞を、ネグリジエに刺繍して贈ったりするファン。危ない危ない。

「危ない!」
 マイクを使わないオペラの歌い手は、ボディ共鳴で声を出す運動選手のようなもの。聴衆の拍手が、肉体のパワーを呼び覚ますことであるわけ。だから「ガラ・ドウ・ロゼ」に出演する歌い手の誰かを好きになって、大きな声援を送って欲しいですね。

「危ない!」
 マイクを使わないオペラの歌い手は、ボディ共鳴で声を出す運動選手のようなもの。聴衆の拍手が、肉体のパワーを呼び覚ますことであるわけ。だから「ガラ・ドウ・ロゼ」に出演する歌い手の誰かを好きになって、大きな声援を送って欲しいですね。



新日本フィルハーモニー交響楽団



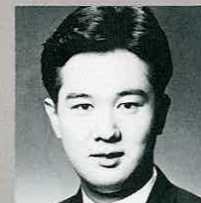
ソプラノ
萩原かおり
 東京芸術大学卒。オペラアリアから日本の歌、シャンソン、ミュージカルナンバーまで幅広いレパートリーを持つ。さまざまなコンサートで活躍。舞台作品への出演も多い。(二期会会員)



メゾ・ソプラノ
河村永真
 東京芸術大学卒。ジュリアード音楽院卒。音域が広く声量のある伸びやかな声から注目を浴びた。国内だけでなく米国を中心に海外演奏活動も行っている。(二期会会員)



テノール
星洋二
 東京芸術大学卒、同大学院修了。イタリアに留学、アルド・プロッティ氏に師事。イタリアオペラの感情的役割を最も得意とする。第2回ジロー・オペラ大賞受賞。「オペラへの誘い」に続いてのロゼシアター出演。(二期会会員)



バリトン
久保和範
 東京芸術大学卒、同大学院修了。モーツァルトオペラを得意とする他、現代音楽もこなす。第一回ヴォーチェ・プリランテコンクール優勝、兵庫県知事賞受賞。(二期会会員)

(このページ、去る四月二日、東京・コソネット企画館で青島広志さんにインタビューして、まとめたものです。)

私にとっては大きな賭け。
 オペラコンサート本来の形を崩すのですから。

喋る指揮者
 青島 広志



でもリラックスした話の後、即座にタクトを振るのは無理ね。集中することが難しいし、気持ちの切り替えができない。そこで演出家の八木さんに、接着剤的な役割をお願いしました。マイクと指揮棒を交換する時、一呼吸入れてもらうわけです。あつ、思い出した。そう一年前です。指揮しててなんか手が重い。よ

でもリラックスした話の後、即座にタクトを振るのは無理ね。集中することが難しいし、気持ちの切り替えができない。そこで演出家の八木さんに、接着剤的な役割をお願いしました。マイクと指揮棒を交換する時、一呼吸入れてもらうわけです。あつ、思い出した。そう一年前です。指揮しててなんか手が重い。よ

私、怖い。
 過去三回ロゼシアターでやった「オペラへの誘い」では、私のキャラクターが前面に出ました。ピアノを弾き間違えても「あら失敗」って笑いを取れるステージ。今度の場合、千六百人のホールで新日本フィルを指揮するんだから、あんまりハメはずせません。しかも喋ろうってんですよ。怖い。普通じゃないオペラコンサートにしたいって欲求は、すっごく強いんだけど、心配。当日お客様の雰囲気を見て、指揮と解説の流れを決めます。

「ガラ・ドウ・ロゼ」は二部構成です。一部はオペラの歴史的な変遷が把握できるよう、古い順から曲を並べました。二部は「カルメン」を通して、物語としてのオペラの楽しみ方を。前半が青島調、後半が演出家の八木節！って感じかな。
 一曲目は派手にロッシーニの「ウ

おもしろいよ。
 「ガラ・ドウ・ロゼ」は二部構成です。一部はオペラの歴史的な変遷が把握できるよう、古い順から曲を並べました。二部は「カルメン」を通して、物語としてのオペラの楽しみ方を。前半が青島調、後半が演出家の八木節！って感じかな。
 一曲目は派手にロッシーニの「ウ

緊張しちゃ駄目!
 クラシックコンサートは敷居が高い。特に交響楽団の演奏会と違って、舞台も客席もナーバスになって咳ひとつできない雰囲気ですよ。今回の「ガラ・ドウ・ロゼ」では、この辺のイメージも少し変えたいんです。客席と話し合える、コンタクトが取れる。つまり舞台と聴衆がひとつになれるコンサートをめざします。解説を入れたり裏話をしたりするのも、そのための作戦。だいたい「ガラ」の意味が見本市とか顔見せなんだから肩の力を抜いて聴く、でいいですよ。

Profile
作曲家: 青島広志
 Aoshima Hiroshi

1955年東京生まれ。
 幼い頃から音楽・美術・文学に興味津々で、その第一歩が少女漫画。現在は自著の装丁やイラストを手掛ける。
 東京芸術大学大学院修了時のオペラ「黄金の国」が、1983年・1990年の都民芸術フェスティバル主催公演となり、作曲家の地位を確立。



それ以前から現在まで21年間にわたりオペラ指導者として活躍、大きな功績を残す。レパートリーはバロックから邦人作品まで50作余。昨年のミュージカル「スサノオ」や1991年都民芸術フェスティバルにおける「天国と地獄」などの指揮で才能をいかんなく発揮。さらに、大きなイベントの構成・司会も多数任されている。NHK「ゆかいなコンサート」初代総監督を8年務め、現在もラジオ日本「クラシックコンサート」NHK「名曲音楽館」レギュラー。東京室内歌劇場運営委員、日本現代音楽協会・作曲家協議会会員、東京芸術大学講師。

EVENT REPORT

想い。Flash Back

振り向けば熱い

昨年の11月から今年3月まで、ロゼシアターを彩った感動を再現しました。顔に焼きついたシーン、耳の奥に残るメロディ……。またひとつ、心にきらめく宝石がふえたようです。
※サインは出演アーティストからいただいたものです。



ジャズギターの香津美として名声を轟かせて以来、その類いまれなテクニックを引下げて世界を渡り歩き、本年1月ロゼに現れる。小ホール一杯のお客様は、フィンガーワークの冴えを賞賛。アルバムタイトル「おやつ」に因んで、クッキーもサーブされた、ユニークなコンサートでした。

ロゼアフタヌーンコンサート 渡辺香津美おやつコンサート 1月21日



尾高忠明指揮、読売日本交響楽団。尾高忠明指揮、読売日本交響楽団。尾高忠明指揮、読売日本交響楽団。

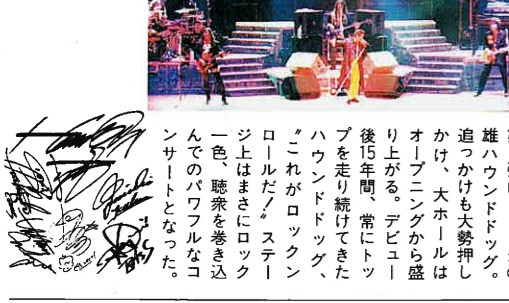


読売日本交響楽団
1月8日
尾高忠明指揮、読売日本交響楽団。尾高忠明指揮、読売日本交響楽団。



劇団SCOT・ACMの本格的演劇「景清」が、中ホールで上演された。鈴木忠志演出のもと徹底的に鍛えられた舞台俳優の声、ビビッドな響き、滅びゆく平家の落武者の悲劇が舞台上に轟く。「景清」の心の葛藤は、観客の胸の中に何かを残した。

平家物語より「景清」 2月10日・11日



ニューミュージック第4弾は、ロックの雄ハウンドドッグ。追っかけも大勢押しかけ、大ホールはオーブニングから盛り上がる。デビュー後15年間、常にトップを走り続けてきたハウンドドッグ、これがロックンロールだ。ステージ上はまさにロック一色、聴衆を巻き込んだパワフルなコンサートとなった。

ハウンドドッグコンサート 2月18日

ロゼ イヴニングコンサート「恋する作曲家たち」シリーズ 12月9日・2月17日

好評のこのシリーズも定着してきた。著名な演奏家による小ホールでのコンサート、身近にクラシックを楽しめ、そのうえ料金も手頃(2,500円)とあって固定ファンも多い。このシリーズ後半のコンサートは、第3夜・シューマンの歌曲集をバリエーションの小松英典さんと伊藤麻里さんのピアノで開演。第4夜はブラームス、N響のコンサートマスターを兼任し、ソロ活動で人気を呼ぶヴァイオリニスト徳永二男さんと林絵里さん(ピアノ)の出演。名演奏を目前で聴ける。



第4夜・ブラームス
2月17日
で聴けたとあってお客様は皆さん満足そうな面持ち。松尾祐孝さんの司会は今回で終了、次のシリーズは、シヨパンから川崎優さんが担当する。二期待ください。



ニューミュージック第5弾「徳永英明コンサート」。清澄なハイトーンはよく伸びて、大ホールのすみずみまで響きわたる。真摯なステージマナーは、オレのヴォーカルをじっくり聴いてほしい。という願いが込められていて、説得力のあるコンサートとなった。

徳永英明コンサート 3月13日



サイラー・ピアノ・デュオ
3月11日
待ちに待ったサイラーさんご夫妻。小ホールから中ホールへ切り替えてより多くのお客様に入場していただいた。本誌、冬号の巻頭に登場した温かい雰囲気そのままのピアノデュオに、ホール内はなごやかなムードが一杯。特に連弾の「日本の四季」には、うっとりとした聴きほれていた。



劇団飛行船のマスクブレイミュージカル「ジャックと豆の木」
3月26日
劇団飛行船のマスクブレイミュージカル。結成30周年を前に満を持して贈る「ジャックと豆の木」。精巧な謎いぐるみの中に、入って演ずる役者さん、声がピッタリとマッチして子供たちはもとより、大人にも楽しめるステージが展開された。

マスクブレイミュージカル 「ジャックと豆の木」 3月26日



落語二人会
3月18日
お楽しみ落語会は根強い人気。大勢のお客様の中に若い人もチラホラとみえて、中ホールは爆笑の渦。柳昇、小三治両師匠の話は、新作と古典の得意ネタ、客席では腰を折って笑い、皆さんそれぞれに、浮世を忘れて楽しんだ。

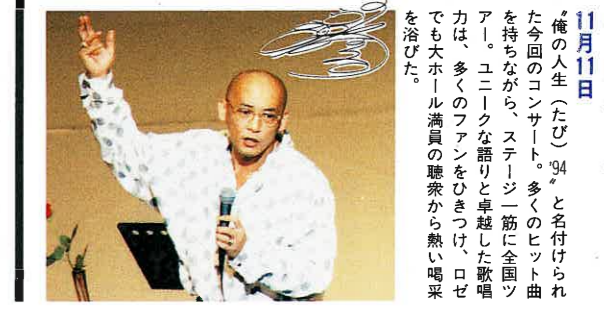
落語二人会 3月18日

「アルジャーノンに花束を」
12月2日
シンプルで洗練された舞台装置をバックにチャーリーとアルジャーノンの物語が若者の心を揺さぶる。原作は59年に発表されて以来、時代を超えて読みつがれ、全国的に静かなブームを起している。この劇団「那」公演には、ロゼでも感動の波紋が静かに広がった。



静岡県芸術祭美術部門優秀作品展
12月7日〜25日(展示室)
静岡県芸術祭美術部門において芸術祭賞など賞に輝いた作品ばかりを集めた展示会。11月22日から県内各所で巡回展示が行われ、油彩画、日本画、水彩画から版画、写真、書道、工芸、彫刻にわたる広範な分野の、ハイレベルな作品の数々は、大勢の愛好者を喜ばせた。

松山千春コンサート
11月11日
「俺の人生(たび)」94。と名付けられた今回のコンサート。多くのヒット曲を持ちながら、ステージ一筋に全国ツアー。ユニークな語り口と卓越した歌唱力は、多くのファンをひきつけ、ロゼでも大ホール満員の聴衆から熱い喝采を浴びた。



レクチャーコンサート「オペラへの誘い」 1月27日・2月24日・3月24日



第1夜「名曲アリアにあり、ヒーロー・ヒロインの胸のうち」
1月27日
第2夜「オペラ・オペレッタ・ミュージカルの三角関係」
2月24日
第3夜「ひとつのオペラができるまで」
総合芸術のしくみ」
3月24日
青島広志さん衝撃的なロゼデビュー。このステージで、オペラファンは言うに及ばず、ともすれば敬遠しがちな一般のお客様まで完全に引きこらしてしまっただけでなく、2夜、3夜のチケットを何と欲して欲しいという問い合わせが多かた。その人気はうなぎ登り。シリアスなオペラのイメージを覆し、気軽に楽しむきっかけを与えてくれた功績は大きい。出演した二期会ソリストの皆さんも小林晴美さん(S)、足立さつきさん(S)、菅有美子さん(M)、長裕二さん(T)、星洋二さん(S)、松本幸二さん(T)と一流揃いで、コンサートとしての魅力も十分に味わうことができた。7月9日(日)の続編「カラドゥ・ロゼ」がとも楽しみ。

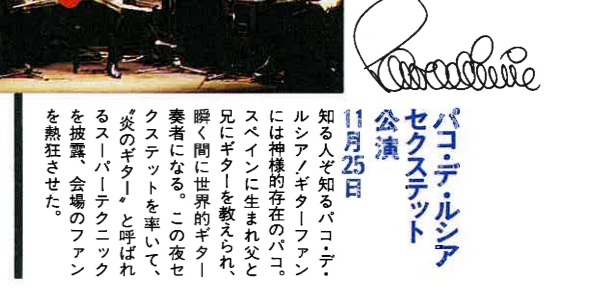
松竹歌舞伎公演 11月18日



尾上菊五郎の「土蜘蛛」、市川左團次の「修善寺物語」と歌舞伎十八番の出し物の公演に客席は固唾をのんで見守る。普段絶対見ることのない世界に展開され、居ながらにして伝統歌舞伎の真髄を堪能した。

パコデルシアセクステット公演 11月25日

知る人ぞ知るパコデルシア。ギタール・ファンには神様の存在のバコ・スペインに生まれ父と兄にギターを教えられ、瞬く間に世界的ギタール奏者になる。この夜セクステットを率いて、炎のギターと呼ばれるスパー・テックニックを披露、会場のファンを熱狂させた。



チケットセゾン(沼津)
(新館2Fエスカレーター前)
☎(0559)61-2405



「私たちのお店では、ロゼさんの『ロイヤルパレエ』があっという間に売り切れました」という野川美由紀さん。新しくこのカウンターに配属され、はにかみながらのコメント。ご主人が音楽好きなので、コンサートに関する会話がぐんぐん増え、勉強になりますと、にこやかに話してくれました。

カワセ書店 富士宮・宮原店
☎(0544)74-7160



国道139号線沿いにある緑色の本屋さん。CDやビデオも扱っていて、お客様の出入りが激しい。「ロゼのチケットを売って、波及効果が出た」、「山梨県の南部からもチケットを買いに来る」等々、話題に事欠かない。「お店は年中無休、午前9:00から午後12:00まで開いているので、いつでも買いに来てほしい」と店長の熱弁。

ユニー富士宮 大宮店 サービスカウンター
☎(0544)24-0255代



「自分自身、クラシックが好きなので、つい話に夢中になってしまいます。でもそのために、クラシック好きのお客様が増え、よく寄って下さいます」と土橋陽子さん。音楽の話しながらチケットを売るこの仕事が大好きと言う。でもこの11月に結婚のため退職してしまうとか、その時は「二人でロゼに行きます」と、根っからのロゼファンの陽子さん。

カワセ書店 鷹岡店
☎(0545)71-9592



国道139号線沿いにある赤い平屋建の本屋さん。駐車場が広い。チケット発売日には、朝から並ぶ人もあるという、常連さんがいるみたい。交通の便がよく、通勤客、若い層が買っていくほか、夫婦連れ、中年層が散歩の途中寄るといふ具合に人気上々。「5月に新しい看板をつけるので、ロゼシアターの名前を入れる」と、ご主人が約束してくれた。

**ニューデザイン
「ロゼシアターオリジナルテレカ」
新発売**

コンサートの記念に、また会館ご利用の記念にどうぞ。



■各50度数・700円/枚 ■2枚セット(台紙付)・1,400円
只今、ロゼチケットセンター・カウンターで取り扱っています。

**街に広がる
チケット
コミュニケーション**

ロゼシアターでは、皆様に年間約3万5千席の公演チケットを提供しています。その内の7千席(全体の20%)は、お客様により身近で、よい席を早くお求めいただけるよう、市内外11か所にプレイガイドをお願いしています。ロゼシアターオープン以来、私たちがサポートしていただいているプレイガイド。それぞれのお店には、常連のお客様も登場し、チケットを仲立ちとした新しいコミュニケーションの輪が広がっています。本誌では、チケットの売れ筋や客層など、それぞれに個性的なお店にスタッフの皆さんをお訪ねしました。

ロゼ・チケットセンター

(ロゼシアター内)富士市蓼原1307番地の8
TEL0545-60-2500



富士市文化振興財団が主催する公演のすべてと、一部貸館公演のチケットを取り扱う。ロゼシアター1階のカフェテラス南側にあつて、オープン時間は朝9時から夜7時まで。チケットはもとより、ポスター、パンフレット、イベントニュース、「ロゼ」などの文化情報、またCD、LDも楽しく、心に調いをとらさずと。そのほか、チケットセンター独自のサービスとして、電話受け付けをはじめ、団体割引、学生券、車いす席の申し込みも受け付けている。コンサートのついでに、また散歩の途中コーヒーでも味わいながら、お立ち寄りください。チケットレディーが笑顔でお迎えます。



**PLAY
GUIDE
INFORMATION**

NUMAZU

JR沼津駅

1 富士急

FUJI

**吉原商店街
虹いろ〜とホール**
☎(0545)51-5227



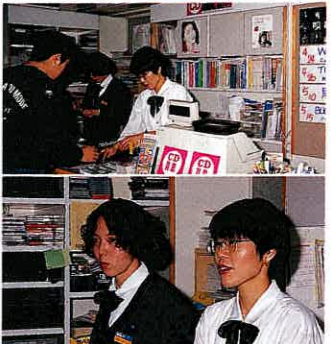
吉原商店街の中心拠点、建物にはホール・駐車場もある。窓口では伊藤節子さん、儀間 栄さんが賑やか?に対応してくれた。年の功もあり、話に定みがない。「最近はおペラへの誘いが抜群によかった」とおっしゃる。公演の時、「バスの便があることをもっとPRしてほしい」と要望があった。

富士市民センター
☎(0545)61-6262



市民には馴染みの元富士文化センター。ドアを開けるとすぐ受付、杉沢知美さんが笑顔で迎えてくれる。「うちは、金額の高いチケットがよく売れるんです。センター利用者より一般のお客様の方がよく買ってくれるみたい…」など気軽に話してくれた。「ここでは電話受け付けは出来ないの、直接来て下さいね」と最後に一言。

すみや富士本町店
☎(0545)63-2233



田村美紀さん(新入社員)と繁田範子さんが対応してくれた。CD等音楽の店ということもあって、お客様はチケットの問い合わせ、購入とも比較的スムーズとか。「チケットお買い求めの際は、駐車券を差し上げますから安心しておいで下さい」とのこと。

すみや富士中央店
☎(0545)60-4567



市役所前店として馴染みだったすみやさんが大きく変身、富士中央店として米之宮浅間神社の東に4月8日にオープンした。初日から大勢のお客様が押しかけ、お店の中はてんやわんや、店員さんも対応におおわらわ。このパワーはロゼとしても頼もしい限り。チケットの売上向上まながいなし!

ラ・ホール富士
☎(0545)53-4300



働く市民の余暇・文化活動の拠点なので、チケット販売との相性もぴったり。「昼は主婦のグループ、夕方は仕事帰りの方がお得意様です。扱うチケットの種類も多いので、公演内容の勉強に苦勞します。でも、お客様の方がよく存じますね。館内では、ビデオや書籍など気軽に楽しめますので、是非ご利用を」とのこと。(左から岩山さん、樋川さん、鈴木さん)

**ユニー吉原店
サービスカウンター**
☎(0545)51-9027代



このカウンターの忙しさにはビックリ。「最近、ご夫婦でチケットを買いに来て下さる方が増えた」と印象を話してくれた。佐野美幸さん、渡辺和代さん、堀田紀子さんのトリオで回すカウンターサービス、とにかく活気がある。ここはいい席を探す時、一度は訪れてみるといい(穴場という意味?)と付け加えてくれた。

タンザワ楽器 富士支店
☎(0545)52-1586



吉原本町の裏道(南側)にあるお店。ピアノがでんと置いてある。カウンターでは元気のいい長瀬郁恵さんが出迎えてくれた。「最近では、やはりピアノ関係で、「ザイラー・ピアノ・デュオ」に人気が集まった」とニコリ。楽器販売から音楽教室まで手広くやっているの、冷やかしてもいいから、一度寄ってみて下さい」とのこと。

作曲家の恋のお話をちりばめて……。

六月十五日の夜に、お会いしましょう。

ロゼシアターでは六月から十二月にかけて、ロゼ・イヴニングコンサート「恋する作曲家たち」新シリーズをお届けします。第一夜から四夜まで、クラシック音楽をわかりやすく解説して下さるのは川崎優さん。豊富な経験とウイットに富んだ語り口、その片鱗がインタビュでも随所に発揮されていました。

ピアノの練習は大っ嫌いでした。

ご専門はフルート？
そうですね、ちよつと困った逸話がありましてね。親父が音楽家で、小学校一年の時からピアノを習わされました。当時は男の子がピアノなんて弾きません。いやで嫌で。外で友達と遊びましょって待ってるから、時計を進ませたりして練習をごまかす。楽譜を読むと目が痛くなるので、お伽噺を覚えるように暗譜してしまふ。そんな意地者が音楽人生を歩むんですから不思議でしょ。作曲家になろうと決心した時、母は大反対でした。貧乏暮らしはお父さんでこりこりだ。父は嬉しいような悲しいような表情で「作曲家はなにか演奏できなきゃいかん。それで楽器をいろいろ持ってきて。弦は難しい。オーボエは鳴らない。サクソフォーンは重いし唇が痺れる。結局フルー

話下手ですが年の功でいろいろ知ってます。

トしか馴染めなかつたんですよ。「恋する作曲家たち」の第一夜はショパンです。ピアノリストは日本にもセンセーションを巻き起こしたデイナー・ヨッフフェさん。
一九七五年のショパン・コンクールで第二位。国際的な注目を浴びました。初来日は確か一九七九年。個人的には存じあげないんですが、六月十五日がとも楽しんでます。第二夜は八月五日のベートルベン。私の念願だったコンサートなんです。実はイントロがありましてね。昨年三月にモスクワ音楽院・常葉学園短期大学セミナーを開きまして。演奏が想像を超えて素晴らしいかった。その機会に仲良くなったグリゴリー・フューギン（ヴァイオリン）氏に、今回の出演を依頼したら「君の頼みなら」と快諾。奥様・エレナ・アシケナージ（ピアノ）さんとの演奏会が実現したわけです。彼らの「月光」や「ロマンズ」を聴く絶好のチャンスだと思いますね。
第三夜と四夜は日本人アーティストによるコンサートですね。
十月十九日がチャイコフスキー、十二月十五日がブッチーニです。しかし、四夜通しのチケットが八千円とはまさに、お買い得ですね。

※著名なピアノリスト、ウラディーミール・アシケナージの妹さん

韓国のオーケストラを聴こう！

平成八年一月には、やはり川崎さんの企画による「ソウル・ユース・フィルハーモニックオーケストラ」の公演が待っていますね。
韓国国際音楽祭に呼ばれた時に口説かれたんです。代表者に「日本に行きたい」ってね。このオーケストラは総勢八十人。全員二十四歳以下で、ソウルの有名音楽大学から選ばれた精鋭ばかり。技術も感性も非常に高レベルです。ニューヨーク・カーネギーホールでの公演実績もあります。来日は初めて。私も一、二曲指揮することになっています。

女性が曲を創らせるんです。

ちよつと脱線しますが、女性は作曲家に向いていないというお話。これは決して女性蔑視ではなく歴史が証明しています。まあまあ怒らないで。女性は創るのではなく、創らせる。天賦の才能に満ちているんです。ショパンやベートルベンシかり、ペルリオースもそう。彼らの近くに魅力的な女性がいなかったら、名曲は生まれなかつたでしょうね。
わが家の女房殿も一切働かないで、私に稼がせる。これが今日のオチです。

浅井町の里で繭づくり。

来る五月六日から展示室で「能装束の世界展」を行います。欧米で大反響を呼んだこの展示会で、伝統文化フォーラム能装束研究所代表として、東奔西走の山口憲さんに今回のリレーエッセーをお願いしました。

日本人のあこがれ富士山。このすそ野、富士市ロゼシアターでは幅の広い文化活動が展開されている。五月六日からは世界でも最も古い演劇である能楽に用いられる能面、能装束の展覧を行う。

東京に申楽町という地名が残っている。今日能楽と呼ばれているが、昔はさるがくのう、と言った古典芸能である。足利時代、観阿弥、世阿弥父子は、將軍義満の御前で舞を奏し認められ、絶大な庇護のもと創作し、どんどん発展して行くのである。主に平安時代の文学を題材に物語がつけられていく。足利氏は武力で得た地位には居るが、心を巧みに貴族にあこがれる。その心を巧みに読みとり、將軍の好みに合わせ、気に入られるものをつくっていった観世父子の手腕は心憎い限りである。今日でも源氏物語、伊勢物語等から主題を得ているこれらの謡曲は、連綿と演じられ続けている。

能は歌舞伎と比較して、動きが極めて少なく、難しく退屈なものと思われがちであるが、少し予備知識を持って臨めば、一時的な娯楽ではなく余韻のある精神性の高い味わいが感じられる。これは洋の東西を問わず同じであり、例えばオペラを外国語で鑑賞しても、ストーリーなどを少し読んでおけば自分の言葉同様楽しめるのと似ている。しかして日本

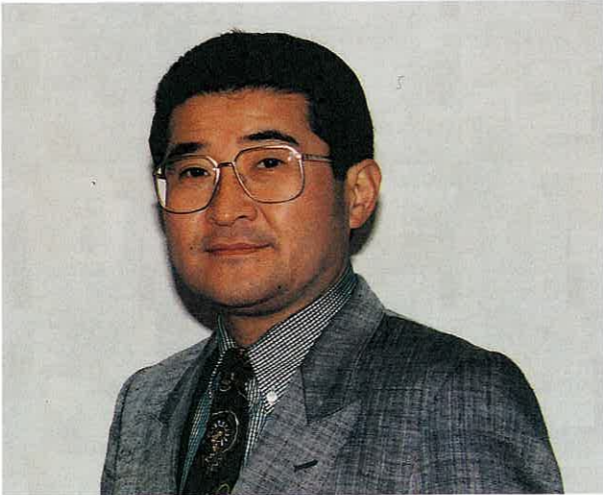
人であれば、日本の言葉のみならず精神的な思いまでも理解する事は容易であり、それゆえ深く味わう事が出来るのである。
能面、能装束は能の舞台に使われる人の心、又、観客の心を打つた和ませたりして能の中に引き込んでこそのものである。もしここにとても良い能装束があっても、ガラスケースに入れ飾ってあるだけなら、それはもはや染織品でしかない。そういう思いでいるため、能面、能装束を調査研究する場合、すぐ舞台を連想してしまうのである。

京都の織物の中で育った私はなぜか能装束に魅せられ、研究を重ね、あのすばらしい近世の織物に近づこうと思つて二十余年が矢の如く過ぎ去つた。先ず原材料である絹糸の重大さに気が付き、江戸時代から良質の絹糸の産地を滋賀県浅井町に見出した。この自然風土にはぐくまれた糸を使って、江戸期の能装束を忠実に復原してゆく。一ヶ月に何度も泊り込みで浅井の里に通い続け、二年前からこの地に住み付いている。もうすぐ裏の桑畑では、新芽が輝き出し、うなれば蚕の目覚める日は近い。昔の方法で養蚕をするので真夜中でも蚕に桑葉を与え、繭を作るまで気の許せない日々が続く。そして繭になったら蝶になる前に糸取りを終えねばならない。そんな短期間ではとても不可能なので、炭火で約一時間蝶にならない工夫がなされる。そして七月の暑い頃まで糸とり作業が続き、能装束の材料が生まれる。

文様や色彩は、ただただ近世に近づくのみ。そして褪せしている色はその裏側に残っているものを用い、現在の

能舞台で演能効果の高い装束を能役者の方々のアドバイスを受け、思いに叶う事を目指す。能役者も面装束に思いを込めれば込める程、その舞台に対する精神性は高まるはずである。
この装束が一人のドイツ人の目に留り、二昨年春から一年間、イタリア、スイス、ドイツの五都市を巡回する展覧が四カ国の事業でなされた。出展したものはオリジナルと呼ぶ江戸期のもの、それを復原したもの、等百余年。能面はそれぞれ国の博物館所蔵のものを含めて展示した。又、昨春秋には米国ワシントンDCにおいてもこれらの能装束展を行い、共に反響を呼んだ。日本の能舞台では何人か必ずと言って程夢の世界を紡ぐ人があがるがヨーロッパで説明を混えた演能で、眼を輝かせる人こそあれ眠る人はなく、あつと思う間に終わった一時間半を体験している。又、結果よりそのプロセス（能装束製作の過程）に興味を示す質問は楽しく勉強になった。ドイツのある博物館では学芸員がドイツ人親子を集め、能舞台や演者を子供達に作らせ切り抜いて人形を動かさせる。親達はカンやピンを打って能もときを体験させたという話には、日本でも見習って実践してほしいと思ううらやましさがあった。

江戸期の装束に近づこうと努力しているが、今日の我々は精神的甘さが多すぎる。この甘さを今回の展覧会で見ていただきたい。江戸期に集大成された能装束群を見ていただく事は、日本の能面群を見ていただく事は、日本の化学を越えたハイテクロジーの結晶と言える。これこそ過去から今日につながる。そして未来へも通じる日本人の力なのである。



浅井能楽資料館 山口能装束研究所所長
山口 憲
Yamaguchi Akira • PROFILE
やまぐち あきら/1948年京都生まれ。
1972年立命館大学経営学部卒業。能装束研究開始。
1978年江戸期能装束調査開始。1983年空引機再現、技術研究。
1984年江戸期能装束三百領調査。教皇護国寺(東寺)真言宗一千五百年大法会御厨子内戸張三張復原。
1984年復原能装束北政巡回展五十領(スウェーデン民族博物館・デンマーク国立博物館)。
1986年三笠宮崇仁殿下・妃殿下当研究所ご視察。1988年ヴァチカン宮殿ローマ法皇謁見。
1990年桃山・江戸期能装束二百領復原。1993年中尊寺藤原祭、中尊寺所蔵能装束復原。
1993年ヨーロッパ能装束巡回展(スイス・イタリア・ドイツ)。
1995年御花王芸術財団の研究助成。朝日本文化芸術財団 日本文化芸術振興賞受賞。
能になった能役者・野口兼資展。古典文学にみる能・鈴木慶雲能面一能面能装束展。



作曲家・富士市文化振興財団芸術委員
川崎 優
Kawasaki Masaru • PROFILE
かわさき まさる/1924年東京生まれ。
1943年東京音楽学校(現東京芸術大学音楽学部)入学。
1945年学徒兵として中国戦線に出征。
終戦後復学。1947年同大卒業。1949年から東京芸大講師。
常葉学園大学教育学部・常葉学園富士短大教授を歴任。1995年退職。
1956年文部省主催芸術祭で文部大臣作曲賞およびNHK協会賞受賞。
1966年ユネスコ研究員としてジュリアード音楽院他で作曲研究。
フライブルク第6回ドイツ連邦音楽祭審査員、イタリア・コルチアーノ市作品コンクール審査員、
神戸国際フルート作品作曲コンクール運営委員長、静岡青少年音楽祭音楽監督、
モスクワ音楽院・常葉学園短期大学セミナー委員長などとして活躍。
日本現代音楽協会名誉会員、常葉学園大学名誉教授。
作品：万国博覧会委嘱「万博マーチ」、広島市委嘱「祈りの曲・哀神歌」、「フルート・ソナタ」他多数。

1995 5 MAY

日	曜日	ホール	イベント
2	火	小	西山工業(株)創立35周年記念式典
3	水	小	音楽おさらい会(小塚寿子)
7	日	中	新日本歌謡連盟静岡大会
		小	ピアノ発表会(大石知香子)
13	土	大	聖書講演会
		中	明治生命労働組合沼津支部定期大会
		小	ピアノ・エレクトーン発表会(伊藤茂子)
14	日	大	霊波之光静岡地区実践者大会
		中	富士マジッククラブ第8回発表会
		小	★トークコンサート(青木裕子)
16	火	小	富士環境衛生自治推進協会総会
17	水	中	能と狂言の夕べ
19	金	中	和泉順夫と大正琴ファミリーズ演奏会
20	土	小	ピアノ発表会(鈴木千鶴子)
21	日	大	東京児童劇場ぬいぐるみ人形劇「ピノキオのぼうけん」
		小	ピアノデュオ(中村由実子)
25	木	小	白石加代子「百物語」第二夜
26	金	中	富士子ども劇場例会「セロ弾きのゴーシュ」
		小	平成8年3月新規学校卒業予定者求人説明会
27	土	小	旭化成クラシックコンサート(ファミリーコンサート)
28	日	中	'95 MAYコンサート
		小	ミュージックメイツピアノ発表会
29	月	大	★美川憲一コンサート

1995 6 JUNE

日	曜日	ホール	イベント
3	土	中	斉藤斗志二後援会女性四団体合同総会
		小	カラオケ大会
4	日	大	第2回服部バレースクール生徒発表会
		小	ピアノ発表会(後藤由香里)
6	火	大	英国ロイヤルバレー「ジゼル」全幕
7	水	大	富士市立吉原商業高校音楽鑑賞会
10	土	中	高木産業株QC発表会
		小	井澤学園ピアノ発表会
11	日	中	実践倫理壮年の集い
		小	神水流聖吟光風会15周年記念吟詠大会
12	月	小	富士市幼稚園合同研修会
13	火	小	環境問題講演会
14	水	大	ふじしん講演会「小朝の爆笑談義」
15	木	小	「恋する作曲家たち」シリーズ 第1夜ショパン
16	金	小	平成7年度富士市防火協会定期総会
17	土	小	山川工業(株)全社QCサークル大会
		大	歌謡グランプリ吉原大会
18	日	中	池坊巡回講習
		小	ピアノ・フルート発表会(小さな音楽会)
22	木	中	花井幸子講演会 富士JC講演会
24	土	大	富士交響楽団第45回定期演奏会
		小	ピアノ・エレクトーン発表会(佐々木由美子)
25	日	大	★劇団ピッカリ座ぬいぐるみ人形劇
		小	ピアノ発表会(古郡昌子)
27	火	大	★第108回NTT N響コンサート

1995 7 JULY

日	曜日	ホール	イベント
1	土	大	生長の家白鳩会静岡教区大会
		小	びっころんちえと
2	日	大	静岡県東部福永法源講習会
		中	手をつなぐ親の会大会
		小	ピアノ・エレクトーンおさらい会(時田真紀)
4	火	中	希望の日講演会
5	水	中	建設業労働災害防止安全大会
		小	オープン化粧品東海本部決起大会
6	木	大	ふじ少年少女芸術劇場小学校招待コンサート
8	土	中	富士市民合唱団合唱演奏会
		小	エレクトーン・ピアノアンサンブル発表会(石川美智子)
9	日	大	新日本フィルハーモニー交響楽団「ガラ・ドゥ・ロゼ」
		小	国際ロータリー第2620地区役員会
10	月	大	ふじ少年少女芸術劇場中学校招待コンサート
15	土	大	びっくり箱コンサート
		小	ピアノ・エレクトーン発表会(植田晴美)
16	日	大	富士子ども劇場例会「ドリミングとすてきなもたち」
		中	富士ミュージカルアンサンブル&ジュニア定期演奏会
		小	ピアノ発表会(川村陽子)
18	火	中	クラシック・バスカースコンサート
		小	老人会長研修会
22	土	中	富士まつり「ミスかぐや姫コンテスト」
		小	マーガレットデュオコンサート
24	月	中	アニメセンターまんが映画会
		小	第21回ロゼ寄席
26	水	小	ピアノ発表会(磯部光代)
28	金	大	富士市小学校音楽発表会
29	土	中	ぬいぐるみ劇団カッパ座公演
		小	ピアノ発表会(海田理恵)
30	日	大	婦人夏期大学
		小	ピアノ発表会(藤巻由美子)

展示室のご案内

展示期間	展示室	催 事
5/6～21	一般特別	能装束の世界展
5/24～28	一般特別	第47回富士市美術協会展
5/30～6/4	一般特別	第29回富士の型染展
6/6～13	一般特別	ロバート・ハインデルバレー絵画展
6/23～25	一般	樹脂粘土でつくる四季の花
6/28～7/2	一般	キルトママMグループ パッチワーク・キルト展
7/4～10	一般	富士市退職教職員趣味展
7/16	一般	'95花のシンフォニー展
7/21～23	一般特別	富士市展(書道・写真)
7/24～31	一般	版画展

ロゼシアター自主事業 ★印は、ロゼ・チケットセンター窓口でもチケットを取り扱っています。
※一般貸出事業については、平成7年4月中旬までの受付分です。※各ホールでの催し物は日時が変更になる場合があります。

チケットのお申し込み・お問い合わせは

ロゼ・チケットセンター ☎0545-60-2500 受付時間9:00～19:00

- プレイガイド
- すみや 富士本町店 ☎(0545)63-2233
 - すみや 富士中央店 ☎(0545)60-4567
 - すみや 富士市民センター ☎(0545)61-6262
 - ラ・ホール富士 ☎(0545)53-4300
 - チケット・セン 沼津 ☎(0559)61-2405
 - カワセ書店 鷹岡店 ☎(0545)71-9592
 - カワセ書店 富士宮・宮原店 ☎(0544)24-7160
 - ユニバーサービスカウンター 吉原店 ☎(0545)51-9027代
 - ユニバーサービスカウンター 富士宮大宮店 ☎(0544)24-0255代
 - タザワ楽器富士支店 ☎(0545)52-1586
 - 喜楽堂 富士宮店 ☎(0545)51-5227

イベント見どころガイド

THE CLASSIC BUSKERS
クラシック・バスカース



「クラシックで笑いが絶えないコンサートは初めて」と話題を呼ぶ「クラシック・バスカース」。傘の柄まで30種類以上の笛!?をあやつる超絶技巧の持ち主マイケル・コブレイとオム・アコーディオン弾きのイアン・ムーアがくりひろげるウィットとユーモア満載のステージです。

●1995年7月18日(火) 中ホール
●開場/18:30 ●開演/19:00
●入場料(全席指定)/一般3,000円・学生1,500円

編集後記

この時季、どこを歩いても春爛漫。冬のあいだ曇って穏和な植物がいま一斉に動き出す。まさに自然が奏でる「シラネ」の開幕だ。そんな中、表紙の撮影で富士岡花守(守)くんの花の中にホルンを置き、春のメロディをイメージしてみた。一方本文の花は青島広志さん、ステーションのまのキョウキョウはインテリ中にも随所にほのぼの。今号も大勢の方々にもご協力いただきまして誠にありがとうございました。ご協力を感謝します。

(I)

富士市文化情報誌 ロゼ
1995年4月発行(第11号)
発行 財団法人文化振興財団
〒416 富士市藤原1307番地の8 ☎(0545)60-2510代
企画・編集・制作 財団法人文化振興財団事業課広報係
凸版印刷(株)

旦那様の
しかめっ面も
治して
差しあげますわ。



「コーラスをやるぞって、力むの
ではなくみんな楽しく歌いたい。
結成理由は単純明快なんです」と
指揮者の大竹敏枝さん。四月十二日
がこのグループの初練習日。この日
ロゼシアターリハーサル室は朝か
ら熱気ムンムン、まだ出来立てのホ
ヤホヤです。無理ありません。で
も最初にしては素晴らしいハーモ
ニーで思わずウツトリ...

その前身は？
と聞いてみると、
はなみずき・かり
がね・ひまわり・
あざみりんどう？
こまくさ。富士
市内で自主的
あるいは公民館
活動の一環とし
て歌ってきた六つのサークルが、母
体というわけです。昨年十二月にロ
ゼシアターで合同発表会を開いた
ことをきっかけに、皆さんちよつと
だけ欲張りになった。次のステップ
へ、もっとグレードの高い曲を歌い
たい、各地域でサークル活動をつづ
けながら、新しい場で声を磨きたい。
そんな前向きな人たちが集まって
『ザ・カンタービレコーラス』は結



たのです。
『カンタービレ』とは美しく歌うと
いう意味。メンバー全員がカン
タービレになれるよう、工夫も忘
れません。つまり選曲。外国の歌は
ソプラノ中心で、アルトは伴奏的
な役割が強い。そこでソプラノ・メ
ゾソプラノ・アルトの三パートと
も、メロディがある日本の曲を選
ぶのだそうです。大竹さんは「パー



野淳也先生も指導に来られると
か、楽しみですわね。
ロゼシアターをレッスン場に選
んだ理由は？と聞くと、リハーサ
ル室と練習室を同時に借りれば、
パートごとの練習も並行して出来
るからとのこと。納得。それぞれの
成果を合わせてこれが本場のカ
ンタービレですね。
コーラスは、姿勢を正しく普段
とは異なる呼吸
法で発声する
から健康にもよ
く、最初は緊張
してコチコチに
かたまってしま
う人も、声を出
して自然体で歌
えるように

おなかの底から美しい旋律を奏でましょう!

♪練習日: 毎月第2水曜日 ♪時間: 午前9時～12時 ♪場所: ロゼシアター (リハーサル室・練習室)
♪会費: 2,000円 ♪参加方法: 練習日に直接ロゼシアターへお越しください。
♪お問い合わせ先: 大竹敏枝 ☎0545-21-6915

一般に、文化活動と言われているものにも道具がなければ出来ないものもある。コーラスのように何もなくても出来るものがあります。普段話す声より少し高い声にメロディをつけてみただけで出せばコーラスになる。今回は、そんな気持ちでコーラスを楽しんでいる女性ばかりのグループ「ザ・カンタービレコーラス」を紹介しましょう。